

小西重直 （小西重直） 教育學者、文學博士。明治八年一月十五日山形縣生
れ、昭和二十二年七月二十一日歿（七五—九四八）。舊名實所代吉。明
治二十四年東京帝國大學文科大學哲學科卒。歐洲留學後、廣島高等師
範學校教授、視學官、第七高等學校校長歴任のち、大正二年京都帝
大教授、昭和八年總長となるも、所謂京大事件で辭任。その後千葉工
業大學學長を務めた。號思堂。

著書、「大戦後の歐米教育」（他四名合著・國民教育奨励會編、大正
十一年十一月、二十五日民友社）、（文科）「科學術講演集・第一輯」（内題
「懷德堂文科藝術講演集」他五名合著・懷德堂編、大正十四年六月十
八日弘道館）、（ヨウネン）「ヨウネン社編・石井啓年共選、大正
十五年二月二十五日ヨウネン社「學級文庫」）、（塾生）「塾生と語る」（昭
和七年七月十五日玉川學園出版部「玉川文庫」）、（訂）「思想千秋」（訂
正・昭和九年二月一日京都・金港堂書店）、（放送）「近世教育思想講座」（放送
（他七名合著、昭和十一年四月十五日日本放送協會）、（教育精神）
「研究」（昭和十一年十月二十日明治圖書株式會社）、（廣瀨淡窓）（昭
和十八年七月十日文教書院「日本教育先哲叢書」）、（細井平洲著）「櫻
鴉館遺稿」（校訂）、昭和十九年六月二十日宮越太陽堂書店）、（感謝）
「生涯」（昭和二十二年五月十五日京都・永澤金港堂）等。

